

みえ森と緑の県民税基金事業の評価（案）

10名の委員を3班に分け、班ごとに分担した事業について評価基準に基づき「事業内容」(24点)「情報発信」(15点)の2項目を評価。評価後、各委員の評価点を合計し、その平均値により以下により「A」～「E」で評価。

なお、「①基金積立金事業(事業総括)」は、全事業の平均値、「⑨-イ市町交付金(基本枠)事業」は、基本枠全事業の平均値とする。

事業内容 平均値	情報発信 平均値	評価	
$20.8 \leq X \leq 24.0$	$13.0 \leq X \leq 15.0$	取組が特に優れている	A
$17.6 \leq X < 20.8$	$11.0 \leq X < 13.0$	取組が優れている	B
$14.4 \leq X < 17.6$	$9.0 \leq X < 11.0$	取組が妥当である	C
$11.2 \leq X < 14.4$	$7.0 \leq X < 9.0$	取組は妥当であるが さらに工夫が必要である	D
$8.0 \leq X < 11.2$	$5.0 \leq X < 7.0$	現状の取組に改善が必要である	E

事業総括・県営事業・市町交付金（連携枠）事業 ※事業別

事業名		事業内容		情報発信	
		平均値	評価	平均値	評価
①	みえ森と緑の県民税基金積立金事業（事業総括）				
②-ア	災害緩衝林整備事業				
②-イ	土砂・流木緊急除去事業				
③	災害に強い森林再生事業				
④	森林情報基盤整備事業				
⑤-ア	みえ森林教育ビジョン推進事業				
⑤-イ	みえ森づくりサポートセンター運営事業				
⑤-ウ	みえ森林教育ステーション運営・整備事業				
⑥	みんなで取り組む三重の森づくり推進事業				
⑦	生物多様性推進事業				
⑧	森林とふれあう自然公園環境整備事業				
⑨-ア	流域防災機能強化対策事業				
⑨-イ-b	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
⑨-ウ-c	県民参加の植樹祭事業				
⑨-イ	みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業				
⑩	みえ森と緑の県民税制度運営事業	—	—		

市町交付金（基本枠）事業 ※市町別

事業名		事業内容		情報発信	
		平均値	評価	平均値	評価
1	〇〇〇事業				
2	〇〇〇事業				

みえ森と緑の県民税基金事業 評価基準

事業名： ○○○事業

市町名： ○○市

項目	視点		説明	評価点	評価基準			備考
					3	2	1	
事業内容	しくみ・工夫	協働性	さまざまな主体との連携・協働が図られているか。	3	自治会、活動団体、教育現場などさまざまな主体との連携・協働が図られている。	自治会、活動団体、教育現場などとの連携・協働が図られている。	連携・協働が特に図られていない。	【協働・連携例】自治会の危険木伐採、活動団体の里山保全活動、教育現場における森林教育活動など
		発展性	事業効果の発現に向けた工夫が行われているか。	3	事業効果の発現に向けたさまざまな工夫が行われている。	事業効果の発現に向けた工夫が行われている。	事業効果の発現に向けた工夫が特に行われていない。	【工夫例】アンケートによるニーズの把握、PDCAのしくみの構築、里山整備計画の策定、森林施業の工夫、転用や目的外使用の規制など
	ビジョン・効果	将来性(×2)	長期的な視点に立った事業であるか。	6	計画的な森林づくりなど長期的な視点に立った事業である。	長期的な視点からの工夫が行われるなど中長期的な視点に立った事業である。	要望に基づき都度実施される危険木伐採など短期的な視点での事業である。	
		公益性(×2)	不特定多数の幅広い県民に受益のある事業であるか。	6	不特定多数の幅広い県民に受益のある事業である。	多くの県民に受益のある事業である。	一部の県民に受益のある事業である。	
		有効性(×2)	2つの基本方針の実現に資するとともに、県民に有益な事業であるか。	6	特に県民に有益な事業である。	県民に有益な事業である。	県民に有益な事業だが、さらに工夫が必要である。	
	合計点・評価			24	A			

項目	視点		説明	評価点	評価基準			備考
					3	2	1	
情報発信	県民に向けた情報発信	発信方法	さまざまな媒体を活用し、積極的な発信が行われているか。	3	さまざまな媒体を活用し、積極的かつ効果的な発信が行われている。	積極的な発信が行われている。	積極的な発信が行われていない。 ※ロゴマーク、のぼりの掲示など	【情報発信例】インターネット、SNS、広報誌、学校だより、パネル掲示など
		発信内容	県民税への理解醸成に向けた内容の発信が行われているか。	3	県民税の活用に加え、基本方針との関係や森林の重要性、木材利用の意義などもあわせて発信している。	県民税の活用などを発信している。	発信内容について、さらに工夫が必要である。	
		発信の工夫	県民税への理解醸成に向けた発信の工夫が行われているか。	3	県民税への理解醸成に向けたさまざまな発信の工夫が行われている。	県民税への理解醸成に向けた発信工夫が行われている。	県民税への理解醸成に向けた発信の工夫が特に行われていない。	【工夫例】ドローンの活用、チラシ全戸配布など
	評価委員会資料	明透確明性	県民税の使途が明確に記載されているか。	3	事業内容などが明確に記載されている。	事業内容などが把握できる。	事業内容などについて不明瞭な点がある。	【記載の工夫例】写真の多用、補足資料の添付、継続事業の場合事業全体像の提示など
		発信性	事業のアピールポイント（工夫点等）が明確に記載されているか。	3	アピールポイントが明確に記載されている。	アピールポイントが把握できる。	アピールポイントが不明瞭である。	
	合計点・評価			15	A			

特記事項			
------	--	--	--